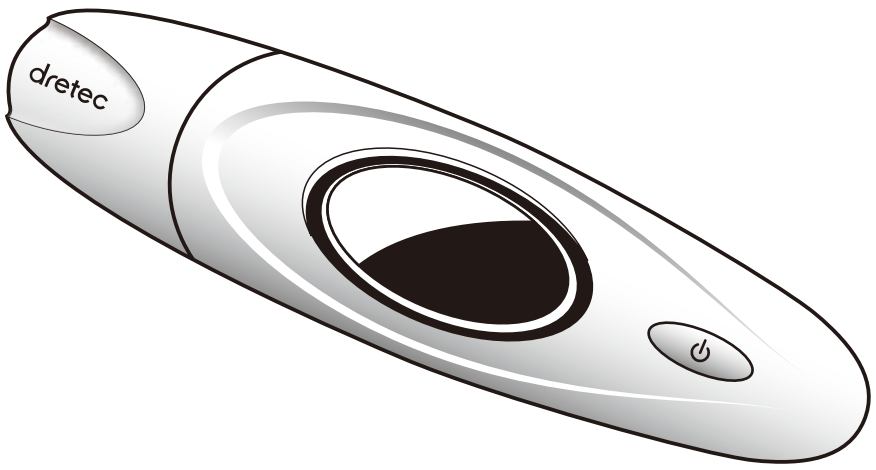
認証番号：227AKBZX00008000

dretec

赤外線体温計
TO-300

このたびは、当社製品をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、
正しく安全にご使用下さい。
お読みになった後は、いつでも見られるように
大切に保管してください。

取扱説明書・保証書



輸入発売元　株式会社ドリテック
〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9
URL　http://www.dretec.co.jp

お客様相談センター
フリーコール 0120-875-019
（受付時間：月～金10：00～12：00, 13：00～16：00, 祝祭日および当社指定休日を除く）

保証規定

- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
- ※ 誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災地変等による故障または損傷。
- ※ ご使用上に生じる外観の変化。
- ※ 本保証書に販売店、およびお買上げ年月日の記載がない場合字句を書き換えられた場合。
- ※ 本保証書のご提示がない場合。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- 電池は保証対象外です。
- お買い上げ後１年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- この保証書は本書に明示した期間において無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用上の注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
対象部品：本体
保証条件：持込修理
保証期間：お買い上げ日より１年以内
本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

保証書	
	お買い上げ年月日
	お買い上げ店
	お名前
	ご住所
	お電話番号

18-07

ご使用上のご注意

■ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
ご使用前によくお読みになり、安全のために必ずお守りください。

記号の例

- この記号は強制（必ず守ること）
- この記号は禁止（してはいけないこと）
- この記号は注意（警告･危険を含む）

⚠警告　この表示の項目について、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- **測定結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導にしたがってください。**
  自己診断は、病気が悪化する恐れがあります。
- **必ずプローブを清潔にして測定してください。**
  赤外線センサーが汚れていると正しい測定結果が得られない恐れがあります。
- **他の人が使用した後はアタッチメントやプローブを消毒用アルコールなどでよく拭いてから使用してください。**
  病気が感染する恐れがあります。
- **センサー部を手でさわったり、息を吹きかけたりしないでください。**
  赤外線センサーが破損したり、汚れて正しい測定結果が得られなくなる恐れがあります。
- **センサー部が汚れたときは、汚れを拭きとってください。**
  ぬらして絞ったティッシュやカット綿、綿棒、アルコール綿などで軽く拭きとってください。
  汚れて正しい測定結果が得られなくなる恐れがあります。
- **小さな子供だけで使わせないでください。**
  耳を傷つけるなどけがをする恐れがあります。
- **乳幼児の手の届かない所に保管してください。**
  万一、電池や部品を飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。
- **帰宅後すぐなど耳が冷えている場合は、耳が温まってから測定してください。**
  水枕や氷嚢などを当てていたときや冬など帰宅後すぐに測ると低い値になることがあります。
- **保管場所と測定場所の温度差があるときは、本体を室温（測定場所）に30分ほどなじませてから測定してください。**
  正しい測定結果がでない恐れがあります。
- **本体やアタッチメントに傷や破損、故障がある場合はご使用にならないでください。**
  ケガにつながる恐れがあります。
- **耳孔が濡れている時は使用しないでください。**
  正しく測定出来ない場合があります。耳孔をよく乾燥させてから測定してください。

⚠注意　この表示の項目について、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

- **本製品はひたいや耳用の体温計です。体温測定は人以外には使用しないでください。**
  正しい検温ができません。耳などを傷つけるおそれがあります。
- **電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚についた場合には、直ちに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。**
- **電池の＋と－（プラス・マイナス）は正しく入れてください。**
- **電池を火の中に投げ込まないでください。**
  電池が破裂する恐れがあります。
- **無理にプローブを耳に挿入しないでください。また、使用中に痛みなどの異常を感じたときは、使用を中止してください。**
  耳の穴を傷つける恐れがあります。
- **外耳炎、中耳炎など耳に疾病のある方は、使用しないでください。**
  疾患部分を悪化させる恐れがあります。
- **本機を携帯電話など強い静電気や電磁波を発生するものに近づけないでください。**
  誤作動や故障の原因となります。
- **本体に強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。**
- **分解や修理、改造をしないでください。**
- **本体は防水ではありません。液体（アルコール、水滴、熱湯など）が本体内部に入らないように取り扱いに注意してください。**

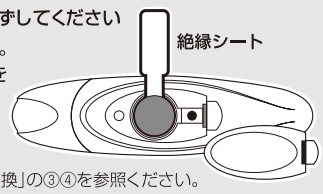
赤外線体温計について

本製品は、皮膚（ひたいなど）の体温を測定するために使用します。体表面上の皮膚の体温を測定するために用います。人の鼓膜及びその周辺の赤外線を測定し当該部位の温度を測定することで、体温を測定し、デジタル表示します。

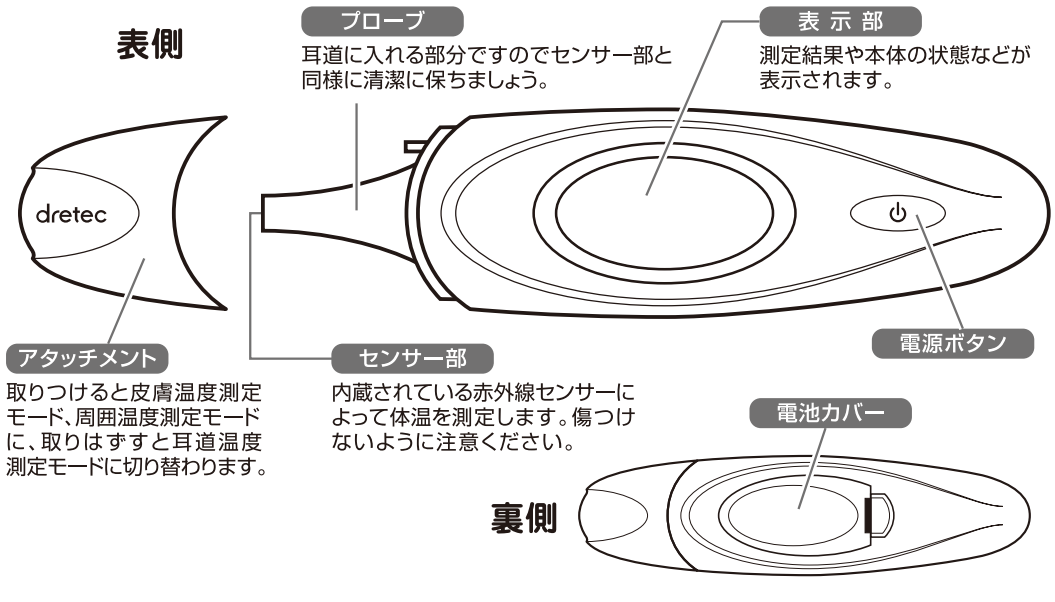
お使いいただく前に …… 製品をご確認ください

本体	1個
アタッチメント	1個
添付文書	1枚
取扱説明書（保証書付き）	1枚
電池（動作確認用）	1個

製品の準備 …… 電池の絶縁シートをはずしてください
①本体部の裏側にある電池カバーを開けます。
②電池と本体のあいだにある白色のフィルムを取りはずします。
③はずれた電池をもう一度押し込みます。
④電池カバーを閉じます。
※電池･電池カバーがセットできない場合は「電池交換」の③④を参照ください。



各部の名称



測定する

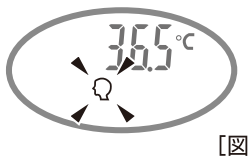
●皮膚（ひたいなど）で測定する場合

①アタッチメントは付けたままで、センサー部が汚れていないことを確認します。

②電源ボタンを押します。
全表示後、「ひたいマーク」と前回測定値が表示されます。[図1]

③測定部位にセンサーをあてます。

④電源ボタンを押して測定します。
ピッと鳴って測定が終わり測定結果を表示します。
（約２秒で測定できます。）

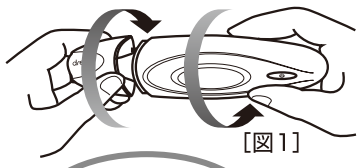


[図1]

※ひたいなどでの皮膚体温をより正確に測定する場合には、電源を入れたあと体温計を皮膚に垂直に当て電源ボタンを長押ししてから、電源ボタンを押した指だけ離して、ピッと鳴ったあとに温度を確認します。

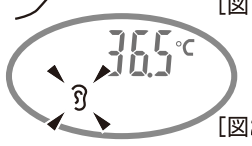
●耳で測定する場合

①アタッチメントをはずします。
（軽くねじるようにするとはずしやすいです。[図1]　無理にはずそうとすると、ケガをしたり、壊れたりしますのでお気をつけください。）


[図1]

②プローブとセンサー部が汚れていないことを確認します。

③電源ボタンを押します。
全表示後、「耳マーク」と前回測定値が表示されます。[図2]

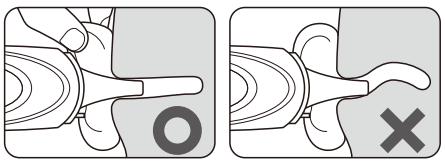


[図2]

④プローブを耳孔に挿入します。
耳を軽く引き鼓膜方向にできるだけまっすぐになる角度で、そっと深く入れます。[図3]

⑤電源ボタンを押して測定します。
ピッと鳴って測定が終わり測定結果を表示します。
（約２秒で測定できます。）

※常に同じ耳側で、一定の向き、深さになるように入れてください。


[図3]

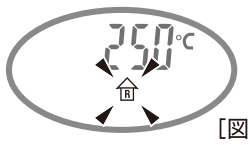
●周囲温度を測定する場合

①アタッチメントは付けたままでも、外してもご使用できます。

②電源が切れている状態で、電源ボタンを長押しします。
全表示後、「家マーク」が表示されたら指を離してください。
「家マーク」と前回測定値が表示されます。[図1]

③測定する場所にセンサー部を向けます。

④電源ボタンを押して測定します。
ピッと鳴って測定が終わり測定結果を表示します。
（約２秒で測定できます。）



[図1]

※周囲温度の結果は目安としてください。

オートパワーオフ機能
測定値表示後、約30秒たつとピッと鳴って「OFF」と一瞬表示されたあと、表示が消えます。
（電源ボタンを押しても電源は切れません）

正確な測定のために

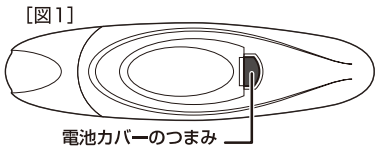
1：本体を測定する部屋の温度に30分程度なじませてからご使用ください。
（保管場所と温度差があると正しく測定できない場合があります）
2：起床直後、スポーツ、食事、外出、入浴などの直後では正しい体温となりません。
部屋の温度に30分位身体を慣らしてからご使用ください。
3：使用するときは、プローブやセンサー部が清潔であることを確認してください。
4：使用する前に電池マークの表示で、電池の電圧が下がっていないことを確認してください。
電圧が不足しているときは、新しい電池に交換してください。
5：耳垢がたくさんありますと正確に測れないときがあります。綿棒などできれいにしてからご使用ください。
6：プローブを耳孔に挿入するときは、外耳道に沿って自然に挿入してください。
7：小さなお子様など耳が小さいときは、耳を軽く後ろに引っ張りながら穴をプローブでぴったりとふさぐようにしてください。
8：測定中、プローブを耳孔に強く押し付けたり、無理に押し込んだり、動かしたりしないようにしてください。
9：測定する部位によって体温は若干異なります。
一定の条件のもとで何回か検温し、本品での平熱を確認しておいてください。

続けて測定したいとき

・続けて測定したいときは、オートパワーオフで一旦電源が切れてから測定してください。
・連続測定すると、本体が体温で温まり、正しく測定できない場合があります。

電池交換 … リチウム電池1個（CR2032）をご用意ください

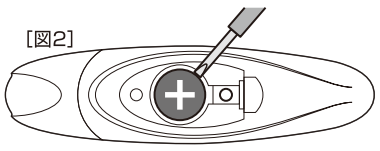
①裏返して電池カバーのつまみを倒し、開けます。[図1]



[図1]

②マイナスドライバー等の先の細いもので
電池を押し出すように取り出します。
（電池の飛び出しにご注意ください）[図2]

⚠ 電池はきつめにセットされていますので、取り出す際は指を刺さないように注意してください。

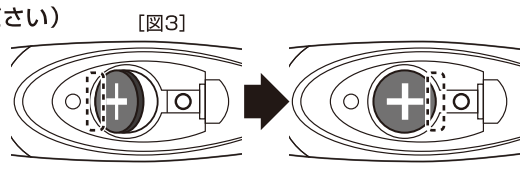

[図2]

③新しい電池の＋が表になるようにして
[図3]のように差し込み、セットしてください。
（きちんと水平にセットされているかご確認ください）

電池の側面図
＋（上）
－（下）

※古い電池は販売店に引き取ってもらうか
自治体のルールに従って廃棄してください。

④電池カバーを元通りにはめて閉じます。


[図3]
電池の左側から差し込み …… 右側を押す

お手入れと保管

●体温計はいつも清潔に保つようお手入れしてください。
・ご使用後は柔らかい布や脱脂綿等に消毒用アルコールまたはぬるま湯を染み込ませて固く絞ったものでセンサー部を軽く拭いてください。電池カバーと本体の間に染み込ませないようにご注意ください。
・本体の汚れは柔らかい乾燥した布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、布等を水またはぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ってください。
・水洗いや研磨剤入りのクリーナー、シンナー、ベンジンのご使用は絶対に避けてください。
・センサー部が汚れたときは、濡らして絞ったティッシュやカット綿、綿棒、アルコール綿などで軽く拭って汚れを落としてから乾かしてください。（プローブ先端は防水です）
・センサー部を長時間アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
電池カバー部分は防水性がありません。
・丸洗いや超音波洗浄をしないでください。
・センサー部分を指などで触れたりすると錆びてしまうので触らないようにしてください。
●保管する際は、本体を乾燥させた状態にして、下記のような場所には保管しないでください。
・水のかかる場所
・高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、ホコリの多い場所や、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受ける場所
・傾斜、振動、衝撃のある場所
・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する場所
・小さな子供や乳幼児の手の届く場所。

本製品や、使用済みの電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。
故障した本製品が正しく廃棄されなかった場合、他者に使用され、間違った測定結果を表示する場合があります。

表示の説明

表示	意味	表示	意味
Err	環境温度が測定可能範囲外である		時計マーク
Lo	測定温度が31.9℃以下	M	記憶マーク
	測定中		電池切れマーク（およそDC2.6V時に表示）
	耳マーク（耳で体温を測定時に表示）		ひたいマーク（ひたいなどで体温を測定時に表示）
R	家マーク（周囲温度測定時に表示）		測定温度が36.3～37.3℃（平熱の表示）
Hi	測定温度が38.0～42.9℃	Hi	測定温度が43.0℃以上

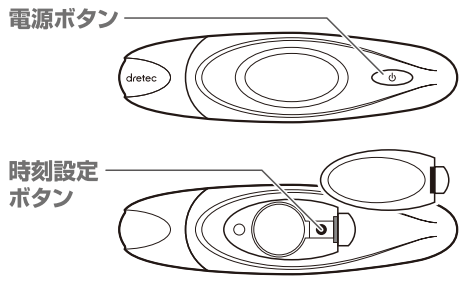
表示温度について

皮膚（ひたいなど）および耳で測定する場合は補正した補正温度を表示します。
（補正温度：実測した値を体温に置き換えた値を表示しています。）

室温/時刻/メモリー表示について

●時刻の設定

※約4秒間、無操作が続くと時刻の設定が終了しますので再度、②から設定してください。



①電池交換と同じように電池カバーを外します。

②電源ボタンを押して電源を入れてから電池の横にある黒い時刻設定ボタンを2回押してください。
（押しにくいときは細くて固いもので押してください。）

③「時間」を表す数字が点滅したら[図1]、電源ボタンを押すことにより、時刻を進めることができます。
1回押すと1時間進みます。

⑤「時間」が合ったら、もう一度、時刻設定ボタンを押してください。

⑥次に「分」を表す数字が点滅しますので[図2]、
「時間」の時と同様に操作してください。

⑦「時間」と「分」の両方を合わせたら、
時刻設定ボタンをもう一度押します。
これで時刻設定完了です。

※時刻と室温が約10秒毎交互に表示されますので、
時間や室温が見やすくなります。
※室温/時刻を表示させると電池の消耗が早く進みます。
※再度体温測定したい時は、電源ボタンを押すと使用できます。

時間表示

[図1]

分表示

[図2]

●無表示にする方法
電池の消耗を抑えたり、しばらく使用しない場合などで無表示にしたい場合電池を外して入れ直し、上記の【時刻の設定】をしなければ、約30秒後に無表示のOFF状態になります。

メモリー表示

[図3]

●メモリー確認方法
①電池カバーを外します。
②電源ボタンを押して電源を入れてから電池の横にある黒い時刻設定ボタンを1回押すと前回測定した体温が表示され M 1が点滅します[図3]。
③電源ボタンを押すごとに以前の測定結果が表示されます。（メモリーは、19回分保存できます。）
※前回の測定値は、電源ボタンを押し、測定を開始するときに確認できます。

故障かな？ と思ったら

●電源が入らない/表示部に「▭」が表示される

原　　因	対 処 方 法
電池が消耗していませんか	新しい電池に交換してください 「電池交換」をご参照ください
電池の向きを間違えていませんか	電池を正しくセットし直してください 「電池交換」をご参照ください

●思ったより測定値が低い

原　　因	対 処 方 法
汗をかいていませんか	汗をきれいにふき取って測定しなおしてください
センサー部を正しくあてていますか	「測定する」または「正確な測定のために」をご参照ください

●思ったより測定値が高い

原　　因	対 処 方 法
センサー部が何らかの理由で熱くなっていた可能性があります	「正確な測定のために」をご参照ください

●測定値が一定しない、ばらつく

原　　因	対 処 方 法
測定するたびに、センサー部があたる場所が変わっていませんか	「測定する」をご参照ください
飲食･運動･入力直後などに測定していませんか	「正確な測定のために」をご参照ください

製品仕様

販売名	赤外線体温計 TO-300
一般的名称	耳赤外線体温計、皮膚赤外線体温計
医療機器分類	管理医療機器
医療機器認証番号	227AKBZX00008000
検温部位	耳内／額を含む皮膚
体温表示範囲	32.0℃～42.9℃
最小表示単位	0.1℃
体温測定精度	32.0℃～35.4℃…±0.3℃ 35.5℃～42.0℃…±0.2℃ 42.1℃～42.9℃…±0.3℃
使用環境	周囲温度：15℃～38℃ 周囲湿度：30%～75%RH
輸送および保管環境	保管温度：－10℃～60℃ 保管湿度：30%～90%RH

検知方式	赤外線（補正方式）
電源電圧	リチウム電池CR2032(DC3V)×1
電池寿命	約 1000 回
消費電力	0.05W
電撃保護	内部電源機器、B形装着部
本体重量	約46g（電池含む）
本体寸法	124×34.5×24mm
主な付加機能	・室温／時刻表示 ・オートパワーオフ機能 ・検温終了ブザー ・周囲温度測定機能 （5℃～70℃±2℃）
警告機能	電池切れマーク表示、測定温度範囲外表示 環境温度範囲外表示

※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

製造発売元　株式会社ドリテック　〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9　URL：http://www.dretec.co.jp
製造元　Famidoc Technology Co., Ltd.（中国）
連絡先　株式会社ドリテック お客様相談センター　0120-875-019
（受付時間：月～金10：00～12：00, 13：00～16：00, 祝祭日および当社指定休日を除く）